

《提言の概要》

(1班)

「他者を尊重し、自分らしくいられるまち」・「みんなでやろうぜ！ともに生きるまち」・「未来が見え、人が集まるまち」
自分だけでなく他者も幸せするために、オープンマインドで他者を受け入れる。思いやりを持ち、人の意見を尊重しながら、個人が自立してできることをやるには教育が重要である。新たに横芝光シンクタンクをつくって、官民連携で町の未来を継続的に考え、運営していく仕組みをつくりたい。さらに九十九里浜をはじめ、町の魅力をつくり、見直し、広く知らせていきたい。

(2班)

「わっ！きらきらわくわくよこひぴかまち」

～「人と自然、産業がつながるまち」・「みんな近くでつながっているあたたかいまち」・「100万色の自然、感性育むまち」～

人、自然、文化、伝統、産業など様々なものがつながって、あるいは「輪(和)」となり、みんなをきらきらさせてくれる。海の輝き、田んぼの緑、満点の星空など都会にはない景色を味わいながら、世界とのつながり、人と人の深いつながりも大切にしたい。まちの色々な取組をITを活用して発信し、情報をみんなに届けていく。さらに価値観や多様性を尊重し、豊かな感性を育むまちとしていきたい。

(3班)

「多世代がワクワクするまち」・「身も心も豊かな自然を活かすまち」・「ゆるやかなつながりが生まれるまち」

⇒**「自然と健康になれるまち」**

赤ちゃんから高齢者まですべての人が楽しめるまち、豊かな自然の中でリフレッシュできるまち、気軽にゆるくつながれるコミュニティがあるまちとすることで、自然と健康になれるまちを目指す。多世代参加で道の駅をつくり、体験イベント、飲食店や娯楽施設、直売所、散歩道、なんでも相談窓口などを設け、そこへ行けば誰もが意図せずして健康になれる0次予防を実現したい。

【共通するキーワード】価値観や多様性の尊重、思いやり、多世代交流、情報や魅力の発信、つながり、人づくり・人材育成

私たちが幸せを感じるまちの姿

～イントロダクション～

一人ひとり
から

みんなで

魅力を
つくり

未来へ



- ①他者を尊重し、自分らしくいられるまち
《オープンマインド！！》
- ②みんなでやろうぜ！ともに生きるまち
- ③未来が見え、人が集まるまち

①他者を尊重し、自分らしくいられるまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

- ・このまちの人たち。とてもいい人たちです。と思いますが、果たして、「オープンマインド」でしょうか…？
- ・進学・就職、その他生き方全般…
『自分らしくいられる、自己実現できる』まちがいいな。
- ・地元の人たちだけではなく、新しく来てくれる人、外国人の方たちのこと
も、考えていけたらいいな。

①他者を尊重し、自分らしくいられるまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

- ・ 充分な医療サービス
- ・ 教育のシステムづくり
- ・ 観光地での多言語案内、定住外国人と町民の交流促進
- ・ (移住しても)仕事がある・仕事ができる、お金を稼げる地域づくり

住民自身ができること

- ・ 心も体も健康に！
- ・ 心の教育、他者の尊重
- ・ 外国人に対しオープンに
- ・ 横芝光町で、しっかり働く。お金を稼ぐ

②みんなでやろうぜ！ともに生きるまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

- ・このまちを元気にしたい。みんな思っています。
でも、「誰かがやればいい…」と思つていませんか？
- ・横芝光のみんな、住んでいる人たち。
それが移住者であろうと、外国人であろうと。
協力し合つて、このまちを良くしていければいいな。
- ・「他者を尊重し自分らしくいられる」ことをベースとしつつ、
私たちがこうやっていきたいから、行政に任せるとよー『ではなくて』、
『行政も一緒にやろうよ』で行きましょう！

②みんなでやろうぜ！ともに生きるまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

- ・【行政運営】行政の見える化、行政トリアージ（優先は何？）、舵取り
- ・【民間活用】民間活用の流れ（枠組み）づくり、取組の推進
- ・【協働】プロセスを工夫し巻き込む、クレームで中止せず粘り強く

住民自身ができること

- ・【行政運営】まず、横芝光のまちづくりに関心を持つ！
- ・【民間活用】行政と一緒に取り組む流れづくり、自主的コンペなど
- ・【協働】工夫したプロセスに巻き込まれ（？）る、町の魅力を発信する

★協働アイディア1～バスルートのMAP・ダイヤの見直しとアプリ制作
★協働アイディア2～『横芝光シンクタンク』設置と検討、旧上堺小活用

③未来が見え、人が集まるまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

- ・だれもが「幸せに生きたい」と願っています。
でも、今だけ良ければそれで良い？
明るい未来を信じられてこそ。では？
- ・だから、今のうちから、何年か先の「未来」のために、
このまちの「いいところ」(魅力)を育て(あるいはつくり)、
人が集まるまちにしませんか？
- ・防犯など安全で安心なまちづくりは基本として、
九十九里浜を活かす！(大人な)美食のまちとして売り出す！
アイディアはいろいろです。

③未来が見え、人が集まるまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

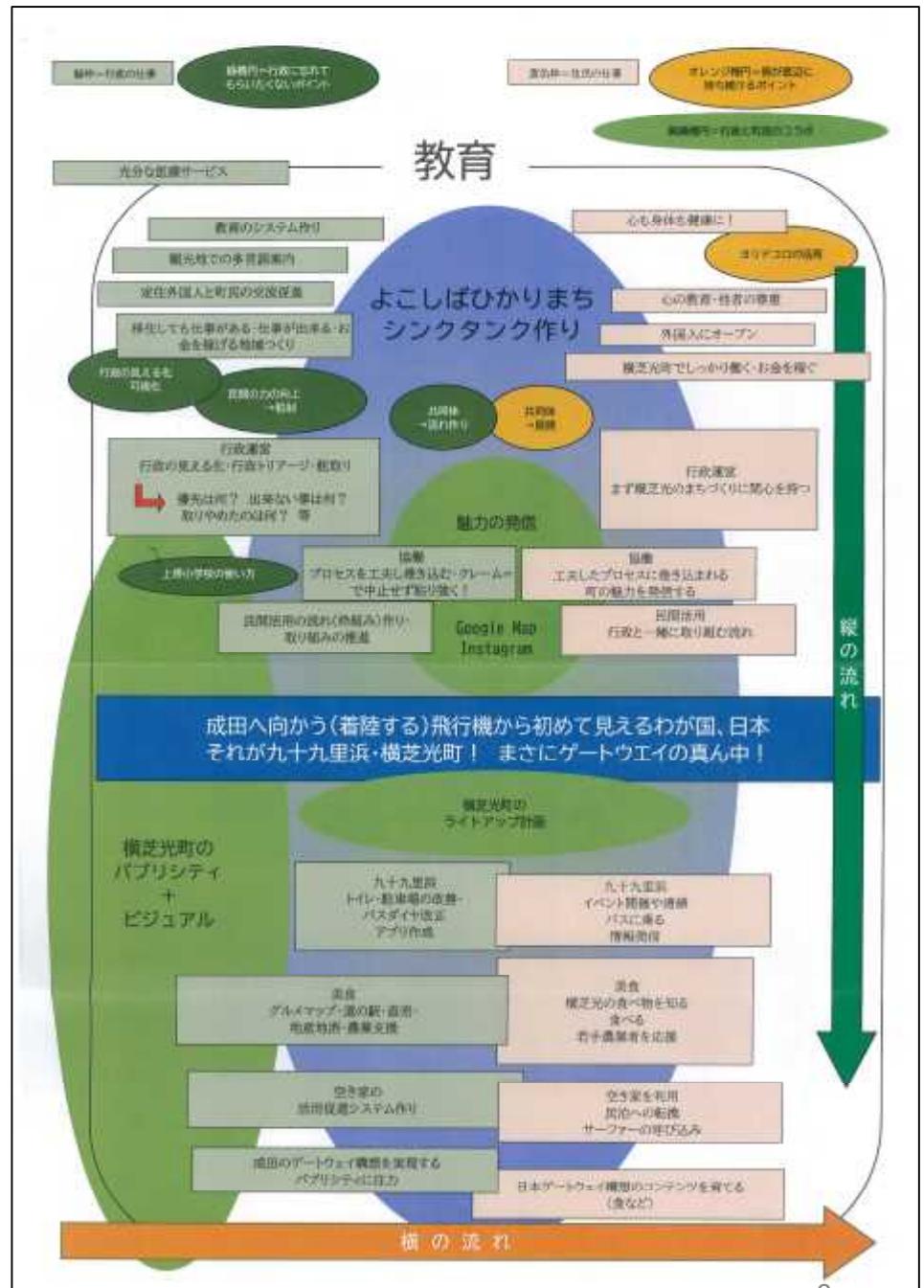
- ・【いいもの1】九十九里浜:トイレ・駐車場の改善、バスダイヤ改善・アプリ作成
- ・【いいもの2】美食:グルメマップ、道の駅・直売、地産地消、農業支援
- ・【実現のために1】空き家の活用促進
- ・【実現のために2】成田のゲートウェイ構想を実現する、パブリシティに注力

成田へ向かう飛行機から、
はじめて見えるわが国…
それが九十九里浜(横芝光町！)
まさにゲートウェイの真ん中！

住民自身ができること

- ・【いいもの1】九十九里浜:イベント開催、清掃等、バスに乗る、情報発信
- ・【いいもの2】美食:横芝光の食べ物を知る・食べる、若手農業者を応援
- ・【実現のために1】空き家を利用、民泊への転換、サーファー等呼び込み
- ・【実現のために2】日本ゲートウェイ構想のコンテンツを育てる(食など)

1班 參考資料



私たちが幸せを感じるまちの姿

わっ！きらきらわくわくよこぴかまち

人と自然、産業がつながるまち

みんな近くでつながっているあたたかい
まち

100万色の自然、感性育むまち

わっ！きらきらわくわくよこぴかまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

・「わ」というのが大テーマで、人、自然、文化、伝統などの様々なものがつながって、まるで「輪」になっていることを表している

・あいさつの声が大きいとか、空調付の教育施設があるなど、まちの良いところがみんなをきらきらさせてくれる

⇒「ピカ」という「キラキラ」とした音から横芝光町を「よこぴかまち」へ

わっ！きらきらわくわくよこぴかまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

- ・道の駅の設置やまちなか広場えみふるを活用した居場所づくりを行う
- ・多様な学びの保証をする(学び直しのための夜間中学)

住民自身ができること

- ・人とつながる(あいさつされたらありがとうと声を返すなど)
- ・町内会で隣人のイベントへの誘い

人と自然、産業がつながるまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

- ・山、海、川、自然豊かで、子育てがしやすい環境がある
- ・人ととのつながりだけではなく、農産物のブランド化や地元
カフェの利用など、自然や産業も深いつながりも大切にしたい
想いから

⇒世界とつながるYoko☆↔Yoko☆

(ヨコピカフォーヨコピカ)

(世界とのつながりも大事にしながらも、横芝光のための横芝光
という地産地消を目指す)

人と自然、産業がつながるまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

雇用を増やすために

- ・ジョブ開業の初期支援をする
- ・企業誘致や正規雇用企業への支援(助成)をする

住民自身ができること

- ・地元ショップでの購入をし、地産地消を目指す
- ・農産物のブランディング化(PRには町の広報が必要です)
- ・ボランティア清掃の声かけ
- ・町婚企画をして、出会いの場を増やす
(町の取り組みでもある)

みんな近くでつながっているあたたかいまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

祭りや800年続く伝統があり、集落が程よく固まっていて、温かい人が多い

しかし、情報格差やコミュニティ作りに必要な飲食店や、産院、児童館がないところが課題である



情報を共有できるDX化や空き家の店舗活用を通じて

誰もがピカッと輝ける 夢にチャレンジ出来るようなまちに

みんな近くでつながっているあたたかいまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

- ・多世代交流スペースの設置運営(公営民営)
- ・医療体制の整備を整備する
(メンタルヘルスや小児科のグループ診察の促進など)
- ・空き家の需要調査やリノベーションを行い、店舗などに活用する
- ・DX化の促進をして、情報格差をなくす

住民自身ができること

- ・出会いの場、イベントへのご近所の声掛けやお友達の誘い
- ・空き家の貸し出しを行う

100万色の自然、感性育むまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

伝統、文化の面で、文化祭に作品を出せるなど、様々な経験が出来る

スポーツが盛んで、自然が豊かな環境で、子どもたちに色々な経験をさせてあげられる



横芝光に、色々な価値観・多様性があり、それを尊重するという意味で、「100万色」というキーワードが出てきた

100万色の自然、感性育むまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

- ・文化体験の伝承のために、資料館の設置、PRも含めた資料の編纂をする
- ・スポーツ・文化活動体験を作る(そのための公園整備等)

住民自身ができること

- ・町内会をこえた祭りや自然観賞会、イベントの実施による自己実現を果たす
- ・農産物のブランディング化を行う
- ・異文化交流、居住外国人と交流を行う

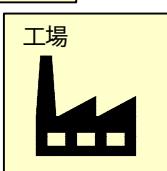
わ

っ！きらきらわくわくよこぴかまち
世界とつながる

ピカ
Yoko☆↔Yoko☆
ピカ

自然文化を大切に
Rich in nature & culture

100万色の自然、感性育むまち



ホッとステーション
(いつでも、誰でも、どこでも)

fine

ミニマム・コミュニティ



人口減少にも負けない！！
だからこそ、つながれる町 横芝光町
誰もがピカッと輝ける 夢にチャレンジ

価値観・多様性

P

personal
peace
powerful

人と自然、産業がつながるまち



いろんな人
・老若男女Q
・外国人
・障がい者

農産物、地元カフェ

みんな近くでつながっている
あたたかいまち



S

social
safety
sport

Pokemonコラボ→モニュメント(任天堂コラボ企画)
(カモネギ又はネギガナイト)

カモネギ、ネギガナイトは、ネギを持ったポケモン

Colorful
town

2班 第3回会議 (2月12日)

私たちが幸せを感じるまちの姿

こんなまちにしたい！

多世代がワクワクするまち

身も心も豊かな自然を活かすまち

ゆるやかなつながりが生まれるまち



こういうまちになった結果・・・

自然と健康になれるまち

多世代がワクワクするまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

・現在の横芝光町には魅力が少ない。

（例えば、おしゃれな飲食店、身近な娯楽施設（ボーリング、カラオケ、映画館、銭湯、サウナなど）がない）

⇒だから、赤ちゃんから高齢者まで楽しめるまちにしたい。

多世代がワクワクするまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

- ・多世代が交流できる場所をつくる。(広場や公園、自然の中で)
- ・コミュニティデザイン(住民を巻き込んで人と人のつながりをデザインする)に長けたコンサルタントを活用したり、まちづくり起業家を誘致する。
- ・SNSなどで情報発信するためのノウハウや講師を提供し、住民による発信を伴走しながら支援する。

住民自身ができること

- ・楽しく、おいしく、おしゃれなイベントや、社会的なインパクトがあり、かつワクワクするようなイベントを企画する。
- ・SNSやブログでイベント情報や町の魅力を発信する。

身も心も豊かな自然を活かすまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

・現在の横芝光町では、自然を活かし切れていない。
(例えば、町には屋形海岸、木戸浜海岸、栗山川、坂田池、梅まつりなどがあるが、活かされていない。)

⇒だから、ウォーキングできる安全なまち(=身も豊か)
や、景観を見て、自然の中にいるだけでリフレッシュでき
るまち(=心も豊か)にしたい。

身も心も豊かな自然を活かすまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町が取り組むこと

- ・道路や歩道の雑草をきれいにしたり、ゴミを拾うウォーキングイベントなどにより、歩きたくなる道や景観とする。バリアフリー化も。
- ・市民農園をつくり、農地や道具、ノウハウを共有できるようにする。
- ・耕作放棄地をきれいにするための労働力を確保する(市民農園が貢献)。
- ・子ども食堂づくりに協力し(食材提供など)、食育や貧困対策につなげる。

住民自身ができること

- ・普段からゴミを拾ったり、ゴミ拾いイベントに参加する。
- ・農業の特産を活かしPRする。

ゆるやかなつながりが生まれるまち

キヤッチフレーズに込めた想い、キヤッチフレーズとした理由

・現在、孤立や孤独が問題となっている。

（例えば、高齢者や外国人、移住者をはじめ、住民同士のつながりが希薄化し、地域内の情報共有や、災害時の素早い対応が難しい状況がある。孤立・孤独はタバコ1日当たり15本の健康リスクがあると言われている。）

⇒だから、気楽にゆるくつながるコミュニティがあるまちにしたい。

ゆるやかなつながりが生まれるまち

幸せを感じるまちの姿を実現するために

町の取り組み

・社会的インパクト(課題解決や価値向上による社会的な変化、環境や資源の変化など)をもたらす活動を盛り上げる。

【具体策】

*社会的インパクトに助成するスキームをつくる。

*リンクワーカー(人・地域・社会資源へのつながりをつくる役割)を養成する。

*社会資源のポータルサイトを製作する。

*重層的支援体制(住民が抱える様々な課題に対し包括的に支援するために市町村が新たにつくる体制)を整備する。

住民ができること

・地域活動に参加する。(=関心を持つ)

・熱量を持って地域に飛び込む。(=主体的にやってみる)

自然と健康になれるまち (= 0次予防)

《具体的な提案》

最終的には、こんなまち
の姿を実現したい！

「多世代参加型 道の駅 PROJECT」

- ・体験型広場で、マルシェ、音楽、アート関連のイベントを開催。(ワクワク)
- ・銭湯やフィットネスをつくる。(ワクワク)
- ・市民農園や地産地消の直売所をつくる。(自然)
- ・散歩したくなる道をつくる。(自然)
- ・なんでも相談窓口や開かれた診療所をつくる。(つながり)

ハード整備だけでなくソフト面を重視し、多世代参加でつくろう！
住民参加のきっかけづくりも